

緊急 トップインタビュー

たかやま（仙台市）

代表取締役 高山 義朋さん(42)

新型コロナウイルスに負けじと踏ん張る経営者へのインタビュー。今回は仙台市を拠点に全国約1万の飲食店に備長炭を販売する「たかやま」の代表取締役、高山義朋さん(42)です。



一影響は。

炭は焼き肉や焼き鳥用をはじめとして、幅広い飲食店に卸しています。需要が落ち始めたのは4月です。外出自粛で客足が落ちるとともに炭の消費も減り、売り上げは去年の半分にも満たない。注文のキャンセルで在庫の保管コストが増し、泣きっ面に蜂です。

一炭以外の商材も扱っています。

実は2016年から、医療・福祉施設向けに使い捨てマスクや手袋、消毒液などを扱ってきました。弊社の炭は中国やインドネシア、ベトナムなど5カ国で生産しており、そこで築いたネッ

子ども用マスク届けたい



トワークと国内配送網が生きました。どの衛生用品もほとんどが安定供給できています。

一マスクは依然、入手困難な状況が続いています。

感染拡大の影響で需要が世界的に急増し、国内のニーズにも応え切れしていません。特に子ども用は深刻です。大人用に比べ売価が安く、海外の工場は生産その

新型コロナウイルス

ともに
乗り越えよう

ものに消極的なためです。弊社は取引のある中国の工場に子ども用の増産を依頼し、5月下旬に約7万枚が入荷する予定です。宮城県内にできるだけ多く出回るよう納品したいと考えています。

企業理念の一つに「全ての人の笑顔を求め続ける」を掲げています。この状況下、子どもの笑顔は希望です。その笑顔のため、今できることに全力で取り組む覚悟です。

information

自社のサイトにはオンラインショッピングのページもあり、衛生用品も販売している。ただし品切れや入荷待ちもあり、状況は「お問い合わせフォーム」からの質問に応じる形で伝えている。